

話題 8 1 ティータイム（9）飛行機での出張

国立病院の院長職を13年間も勤めた。頻繁に出張があり、飛行機での出張がほとんどであった。東京、大阪の日帰りの旅もしばしばあった。何事もなかったかのように時は過ぎ去ったが、思い出すたびに冷や汗をかく恐怖の旅が数回あった。

夏の日の台風の余波の中の東京出張であった。羽田空港への着陸態勢の際の揺れは、これまでに経験したことがなかった。揺れにゆれた。機内には緊張感が漂い、異様な雰囲気である。●ガタン●と大きな音が響いた。機体は左右に揺れたが、無事に着陸に成功した。と同時に、大きな拍手と歓喜の叫びが機内に満ちた。着陸の成功に、どよめきの拍手を聞いたのは、最初にして最後であった。

どんよりとした厚い雲が空を覆う。大阪への日帰りの出張であった。那覇空港での事件である。滑走路へと向かう途中、●どかん●と大きな物音がした。間もなくしての機内のアナウンスである。「雷が落ちたため、電気系統を点検するために引き返します。出発が遅れます。ご理解ください」とのことであった。点検の結果、異状はなく、約30分遅れて飛び立った。仕事の疲れもあり、すぐに寝入った。またしても●どかん●という物音で目が覚めた。窓の外に目をやると島が見える。おっと、伊平屋島ではないか。こんなところに着陸はできないはずだが。身構えた。間もなく、アナウンスがあった。「被雷しましたが、飛行には影響ありませんのでご安心ください」とのことであった。「ご安心ください」と言われても、到着までに、気が気でなかった。片道に、2度の被雷とは・・・。

福岡へ出張である。低気圧の影響で、飛行機は揺れにゆれた。福岡空港への着陸態勢に入り、間もなく着陸かと思いきや●ガタガタ●と横揺れがあり、飛行機は再上昇した。機内が静まり返った。「機長の判断で、再度、着陸を試みます」とのアナウンスであった。しかし、着陸には順番があり、順番待ちのため空港上空を30分以上も旋回を続けている。その間に、陽が沈みかけ、あたりは薄暗くなってくる。福岡空港でなくてもいいので、どこか安全に着陸できる場所に行きたくて祈るような気持ちになった。

大自然が試みる一コマのたわむれかもしれない。生かされたことに感謝の気持ちを忘れないように、大切に生きてみたいと振り返る一コマである。